

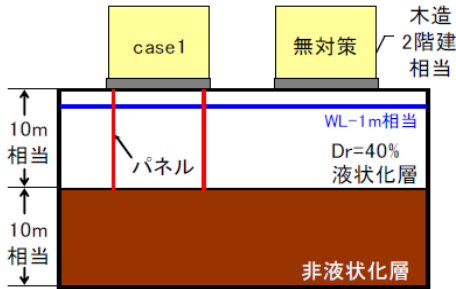
K-gen工法 沈下抑制効果の検証実験

日時：平成26年2月4日(火) 場所：(独)建築研究所 建築基礎・地盤実験棟(茨城県つくば市)
 10:30 受付開始 10:30 実験概要説明 11:00 加振(東日本波) 12:00 昼食/休憩
 13:30 沈下修正工法デモ 15:30 加振(神戸波)

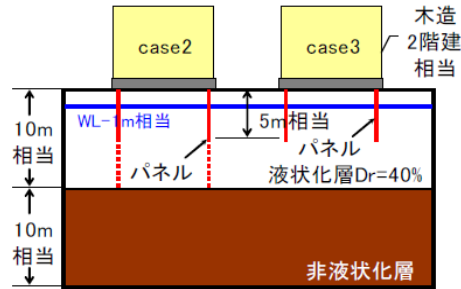
【実験モデルの概要】

1. 過去の実験モデルと結果

※入力波：東日本波



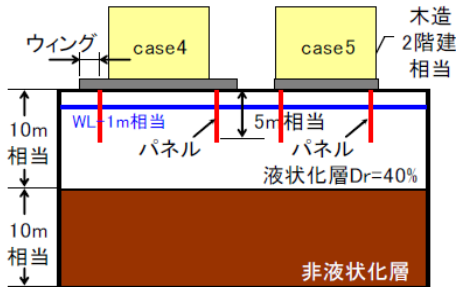
〈沈下量〉 case1 無対策
 17mm 187mm
 第1回(H24年11月実施)



〈沈下量〉 case2 case3
 63mm 63mm
 第2回(H25年4月実施)

2. 今回の実験モデル(H26年2月4日実施予定)

〈過去モデルとの違い〉

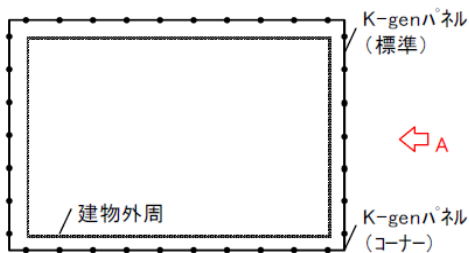


◆case4

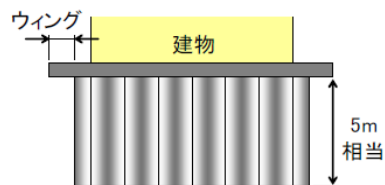
- ・既築建物への適用を想定し、K-genパネルを建物の外側へ設置
- ・コンクリートの張出寸法を大きくし、浮力を受けるウイングを新設

◆case5

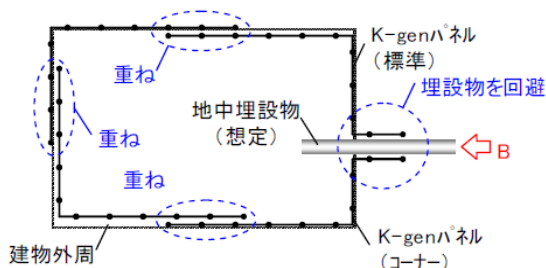
- ・水平方向のパネル連結部が非閉合となった場合を想定し、一部のパネル納りを「2枚重ね」で設置
- ・地中埋設物を除去できないことを想定し、埋設物を回避するためパネルを外側に回避させ延長(一部歯抜け)



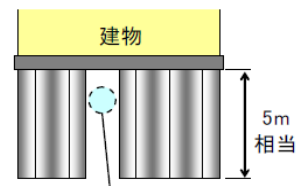
case4の平面図(イメージ)



A矢視図(イメージ)



case5の平面図(イメージ)



B矢視図(イメージ)